

全国公害被害者総行動 8000人参加 水俣病で現在も苦しむ・アスベスト患者70%亡くなる 原発事故8年自宅にも帰れず 公害は人災である

日本で公害により身体をこわし、苦しんでいる人達が、まだこんなに沢山いる。今年で44回をた集会が6月5日夜、都心のホールで開かれました。6年に「公害」と確認され



公害は企業と政治が作ったものだ

。壇上で訴えた患者さんは「水俣病は終わったと思ってる人が多い」中で「これだけの時間を経ても水俣病はなくなっていない」事実を伝えま

ている「カネミ油症」の実態。家屋の壁材のアスベスト使用による大工さんなどの被害者は、すでに70%の人達が肺ガンなどで命を落としていた事実など、公害による深刻な被害が壇上から語られます。大気汚染による「ぜんそく」の苦しみも四日市、川崎、東京と私たちの記憶に残り、医療費補助の救済制度を求める運動として闘って来た歴史も話されました。また、米軍基地の騒音公害も、その地域に住む人達にとっては危険性と共に住環境破壊の実態が語られました。被災から8年が経過した福島原発被害の模様も深刻でした。放射能の残留による帰還困難地域の住宅が荒れ放題で放置されている写真には胸が痛みます。そして「遺骨すら安住の地がない」と言う被災者の発言は、原発事故の本質を見事に言い当てていました。公害は地域住民の健康と命よりも経済優先、企業優先の中で起きま

皆さん、ご自宅に黄色い封筒は届いていないでしょうか？ 天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず。皆さん平等に届いていると思います。その封筒には、5月の半ばより、区から発送されている特定健康診査の書類一式が入っています。40歳以上の足立区在住で国民保険・後期高齢保険をお持ちの方が対象者で、無料で健康診査ができます。定期的に通院されている方でも、健康診断で全体的に検査することにより、新たな疾患を早期に見したり、予防することも出来ます。足立区の特定健診の内容は、「診察・身体測定・心電図・胸部X線・血液検査（貧血・糖尿病・肝腎機能・脂質・尿酸）・尿検査」です。健診結果によっては、眼底検査も追加される場合があります。

健康は自分の健康状態を知ることから 蒲原診療所 三枝 穂波

また、年齢や性別等で対象者が異なりますが、足立区助成で「がん検診」も受診可能です。蒲原診療所では、『大腸がん検診』（300円）・『胃がんハイリスク検診』（1000円）・『前立腺がん検診』（800円）が受診できます。詳しい内容は診療所の職員にお問合せください。上記のがん検診の他に、「胃がん内視鏡検診」（2019年7月から実施開始）・「肺がん検診」・「子宮頸がん検診」・「乳がん検診」が医療機関によっては行なえます。このように、ひとつに「健診」と言っても上記のような種類があり、様々な観点から総合的に身体のエックが出来ます。福沢諭吉の言葉になぞらえて言うと、「健康診断を



をするには、なすべきことを知ることが大事であると言えるでしょう。

また、分からないことがあれば、遠慮なくいつでも診療所に聞いてください。

あじさい班 5月23人参加 冷やし野菜サラダうどん 皆で料理 早川看護師長の「糖尿病について」お話を聞く

あじさい班が5月29日、うどん屋さんに負けません。23名の参加で開かれました。毎回の簡単な食事を作って、みんなで食べながらおしゃべりや勉強もする、ということ、この日は冷やし野菜サラダうどんを作りました。野菜を切る人、うどんを用意する人、お皿を洗ってぶなど、役割分担して皆さん主婦の経験を生かし、1時間たらずで23人分が出来上がりました。会費は200円たす援助金100円の300円でしかも大盛りです。味は



早川師長さんのお話

後半は、かばら診療所の早川看護師長の「糖尿病」についての話を聞きました。予備軍をふくめて国民病ともいわれ、メタボや合併症へ発展する、自覚症状の少ない病気で、病気の種類や判定、症状、食事のしかたや日常生活の在り方など詳しく説明してくれました。さて次回は何を食べましょう。

報告 田中 英人

神明地域で健康チェック！ 看護師さんの健康アドバイスで安心！



職員と健康チェックを行う

梅雨のはしりの6月2日、神明住区センター裏の公園で足立建神明分会の住宅デーが開かれました。会場には、焼きそば、ドリンクフルト、飲物、かき氷のテントが並び、お父さんと一緒に子供たちは銅板レリーフや木工作りを楽しんでいました。その会場の一角で蒲原診療所の職員、それにデイサービスの看護師さんと、私たち友の会役員で健康チェックを行いました。「朝に測ったのと、炎天下の作業中の血圧がどれ位違うか測ってみてください」と呼びかけ、33人が健康チェックを受けました。

高年齢者が多く、血圧の上下の差が大きい人もいて心配しています。看護師

蒲原診療所の職員、それにデイサービスの看護師さんと、私たち友の会役員で健康チェックを行いました。「朝に測ったのと、炎天下の作業中の血圧がどれ位違うか測ってみてください」と呼びかけ、33人が健康チェックを受けました。

足立健康友の会総会開かれる 原点に戻り健康づくりを重点に進める

足立健康友の会第18回総会が6月2日(日)千住介護福祉専門学校で開催されました。来賓のあいさつでは区議会議員選挙で初当選した元友の会事務局長北川秀和さんから抱負が語られました。活動報告では北千住支部とかばら支部が会員拡大の年間目標を達成された教訓が話されました。「笑顔で安心して住み続けられるまちづくり」の方針では、「笑顔で安心して住み続けられるまちづくり」の目標を持ち、健康づくりを重視した活動と地域の仲間との連帯を進める方針を確認しました。役員選出では長らく会長を務めた小林重信さんに代わり元区議会議員の伊藤和彦さんが会長になりました。また、小林さんは新しく顧問に就任されました。総会終了後の交流会では、足立の各地域で活躍する友の会の役員さんの紹介があり、様々な友の会活動について意見交換をしました。

報告 かばら支部役員会

2019年原水禁世界大会 (長崎)代表を送ろう！

今年の原水禁世界大会は被爆74年を迎えます。日本の主婦から始まった核兵器なくせの運動が今や世界を動かす大きな運動に発展してきました。アメリカの平和団体と世界に参加者とともに、来年5月、ニューヨークで『原水爆禁止世界大会』を開こうとよびかけたそうです。今年も長崎ですが、かばらグループから職員と友の会員を1名づつ派遣しようとして準備しています。代表派遣金と核兵器廃絶の署名を広げる活動にご協力をお願いします。

友の会会費のお返いです。年度が変わりました。年間700円の会費を診療所の受付までお願いします。

かけをしました。

報告 美濃 桂子

